

みんなの安心な毎日を支える 農業・農村を守る一員になりませんか

農業・農村には、作物を作るだけでなく、洪水や土砂崩れの防止、自然環境の保全、良好な景観の形成などたくさんの機能(多面的機能)があります。しかしながら近年の農村地域の高齢化や混住化などにより、その機能は失われつつあります。町では、この機能を維持・発揮していくため、多面的機能支払交付金制度を活用した、地域ぐるみでの活動を支援します。



高めよう 地域協働の力!

◎対象となる取組内容と交付金額

●地域資源の基礎的な保全活動

- 農地法面の草刈り、水路の泥上げ
- 農道の路面維持 ○施設の点検 など
- 田: 3,000円/10アールあたり
- 畑: 2,000円/10アールあたり



水路の草刈り、泥上げ

●地域資源の質的向上を図る共同活動

- 水路、農道などの軽微な補修
- 植栽による景観形成
- 生態系の保全活動
- 遊休農地の有効活用 など
- 田: 1,800円/10アールあたり
- 畑: 1,080円/10アールあたり



生態系の保全活動(田んぼの周りの生きもの調査)

●施設の長寿命化のための活動

- 老朽化の進む水路の補修、更新
- 農道の舗装 など
- 田: 4,400円/10アールあたり
- 畑: 2,000円/10アールあたり

※農業振興地域内の一団の農用地面積に単価をかけた金額が交付金額となります。

※活動に対して、5年間、町で活動をサポートします。

◎対象となる組織

農業者および地域住民などで構成する活動組織(※個人での活動は対象外となります)

◎対象となる使いみち

活動参加者への日当、資材の購入費、機械のリース料、作業時の保険料、消耗品費、役員報酬、施設の補修・更新工事の外注費、お茶代

※甚大な自然災害が発生した場合、被災した対象農用地周りの施設の応急措置や補修・更新等に取組むこともできます。

本交付金事業に関する要件、詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

▶問い合わせ先=農政課 農村振興係 ☎0285(56)9136

上三川いぼれ話 第30話 「上三川の交通網〜近世道路編〜」

近世の道路といえは「日光道中」が有名ですが、町内を通る道として「関宿通り多功道」があります。

この道は、千葉県流山市辺りを起点に、茨城県を経て、多功に入り、鞘堂で日光道中と合流します。全長約82kmの日光道中脇街道のひとつで、「日光東街道」とも呼ばれます。日光道中と合流する地点には、追分という地名も残っています。

なお、多功道の詳細は、文化3（1806）年作成の『五街道分間延絵図第4巻』に描かれています。

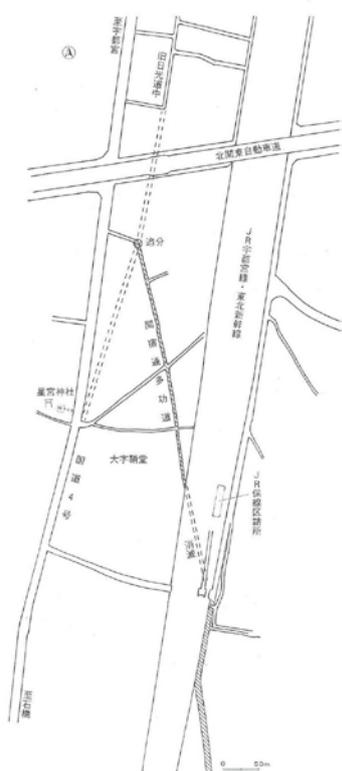
この道がいつ頃からあるのかはつきり分かっていませんが、「説には中世の「宇都宮大道」に比定されるともいわれています」。

多功道は、江戸時代の公用道路であり、徳川家の日光社参の折には、日光街道の混雑を緩和する役割を担っていました。

例えば、8代将軍吉宗が69年振りに日光社参を復活させた際には、権威誇示のために13万人の行列となりました。多功道も13の大名が通行し、松山藩主松平家の場合、お供は3千人の行列でした。

なお、社参に際しては、周辺の村々には助郷役という人馬の供出などの負担が課されたため、多功村の人々にとっては、つい迷惑だったことでしょう。

当時の風景を思いながら、街道を歩いてみるのはいかがでしょうか。



多功道と日光道中の合流地点

〔栃木県歴史の道調査報告書第1集〕
(2008)より引用

▼問い合わせ先⇨生涯学習課 文化係 ☎0285(56)3510

消費生活センターにご相談ください 古いカセットボンベの取扱いに注意

消費豆知識

140

事例 1

最近ガス代が高いので、非常用に買い置きしていたカセットコンロを使おうと思った。阪神淡路大震災の頃に購入したカセットボンベを使用したところ、ガスが漏れていて火を噴いた。

事例 2

災害に備えてカセットボンベをまとめて購入したが、気付くと使用期限切れになっていた。未使用のカセットボンベがたくさんあるがどうしたらよいか。

カセットボンベは、使用していなくても製造から長期間経過したり、保管環境が適切でなかったりすると、内部パッキンの劣化によりガス漏れする危険があります。

カセットボンベは注意書きにあるとおり、パントリーや戸棚の中、床下収納など直射日光の当たらない乾燥した場所に保管しましょう。高温は内部膨張の危険があり、湿気もさびの原因となるため、キッチン下や洗面台の下などの保管は避けましょう。カセットボンベの使用目安は製造後約7年です。製造年月日を確認することも、表示のないものや、変形さびのあるものは使わないようにしましょう。

災害用に備蓄しているものは、経年に応じて使い切り、新しいものを補充しましょう。空になったカセットボンベは、自治体のルールに従って廃棄しましょう。ガスが残っていたり、処分方法が分からない場合は、製造事業者もしくは、(株)日本ガス石油機器工業会のカセットボンベお客様センター（電話：0120-14-9999）へ確認しましょう。

▼相談日時⇨月〜金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時〜正午、午後1時〜4時

▼相談場所⇨上三川町消費生活センター（役場1階 地域生活課内）

▼相談専用電話⇨☎0285(56)9153

まずは、お電話を。消費者ホットライン188でもつながります。